

○ 知る喜び ブラジルの文化に触れる！

8月23日（金）、セントロにあるギター工房（Luciano Bonotoさん）見学に行きました。

ルシアノさんは、Luthier（ルチエール＝弦楽器デザイナー）として、病院勤務の薬剤師を辞めてこの道に入られました。10年前、工房に行って衝撃を受け芸術を伝えていくことを決意します。「自分が良い仕事をすれば、ギタリストはもっと良い演奏をしてくれる」「1本のギターが完成した時誕生の喜びを味わい、演奏家の音色を聴くと感動する」「好きなことを見つけて一生懸命それをやる」など、ギターづくりの工程を説明しながら、たくさんお話してくださいました。

子どもたちはしっかり話を聞き、ブラジルの文化に触れることができました。印象的だったのは、細かい作業は日本ののこぎりが一番、良い作品を仕上げるための「整頓・清潔・整理・清掃・躰＝5s日本の精神」が活用されていることでした。



○ 食べる喜び 心も体も健康！



学校昼食会（月火木）の一番人気はパスタポロネーゼです。調理のセイアさんに「作って！」と子どもたちがねだると「月曜日！」と笑顔で答えてくれます。先日、ピーマン・パブリカのあんかけが和風に感じたので、「molho（ソース）は何？」と聞けば、「しょうゆ！」。さすが、毎日料理研究を欠かさず、私たちの健康を支えてくださいます。

○ つながる喜び 仲間と一緒に学ぶ！



8月30日（金）、サンホセ日本人学校と国語（小2）のオンライン授業を行いました。

リオ日学・西原さくらさんも、サンホセ日本人学校の2年生も在籍は1名で、普段は仲間の意見を聞き合うことができません。

今回の授業は、地図を見ながら目的地にたどり着く道案内の説明文を作文する授業でした。最初恥ずかしそうでしたが、自分の書いた説明文で相手が目的地にたどり着けたとき、お互いに素敵な笑顔で学び合うことができました。

これから他の学年も、いろいろな教科でオンライン授業を進めてまいります。

○ 成長する喜び 伸びろ、体も知識も！



8月20日（火）、学期に1度の発育測定を実施しました。

「3cm伸びた！」など喜びの声が聞こえてきます。

体育の授業ではバスケットボールが始まりました。パス、ドリブル、シュート、ハーフコートのゲームと、体の動きが日に日にバスケットボールの専門的な動きに変わっていきます。

小学部5・6年生の家庭科で指人形を作っています。動物の型紙を切り、フェルトで顔をデザインし、玉止め、かがり縫いなど、休み時間も忘れて一生懸命製作に励みます。みな、確実に成長しています。

く やっぱりバスケが好き く

中学～高校とバスケに明け暮れ、教師になってから部活動の顧問として、いかに勝つか、練習方法をいつも考えていた。昨夏、バスケットボールを購入したのも、子どもたちにその魅力を伝えたいから。中田・日浦・小塚・橋場（勝手に前総領事様も入れて・・・）のドリームチームは、幻に終わってしまった。

今年、体育授業に顔を出しては、シュート、パス、ドリブルを教え、部活顧問時代を懐かしく思い出す。本当は、車いすバスケも体験してもらいたい。思いはパリへ飛ぶ。モリさん（森田俊光さん）がんばって！

全校朝会 令和6年9月2日

私は動く

夢に向かって生きる。

何のマークだろう？



パラリンピックの  
シンボルマーク

パラリンピックとは？

1948年 イギリスで第二次世界大戦で負傷した人のリハビリから始まった。

パラ = Para (平行=もうひとつの)  
+ Olympic (オリンピック)



パラリンピックシンボルマーク



スリーアギトス = 「私は動く」

違いがあってもいい。  
さあ一緒に、怖がらないで、  
自分自身であるために

パラリンピアンに学ぶ  
パリ・パラリンピック

8月28日～9月8日

森田俊充さん

元 車いすバスケット  
ボール選手

現 女子日本代表  
アシスタントコーチ

森田俊充さん

29歳の時バイク事故で、下半身が麻痺、車いす生活となる失意の中、ある言葉と出会う。

できないことを数えるよりも、

できることを数え、

夢に向かって生きる。

車いすバスケットボールへの挑戦が始まる。



リオ日学の暮らしの中で

・だれにでもチャンスはやってくる。チャンスをつかむのは自分次第。

「信じていれば夢はかなう」

・あなたの「私は動く宣言」を聞かせて！